

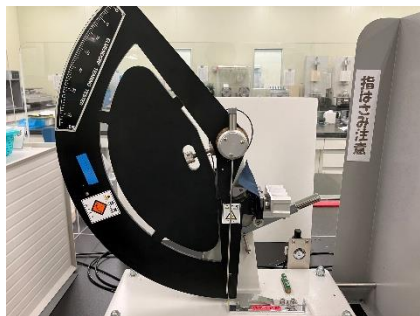
【シリーズ】 報告書を読み解く～その試験結果どういう意味～

⑩引裂試験について

衣服等を着用中に転倒した時や、物への引っ掛かりなどで生地には傷や切れ目が生じ、生地が破れてしまうことがあります。引裂試験では、生地に引裂かれるような外圧が加わったとき、簡単に破れてしまわないか強度を評価します。通常は織物生地で実施する試験です。

●D法（ペンジュラム法）

振り子の動きで、生地を引裂いて強度を測定



測定結果

たて 15.7N

よこ 13.2N

N（ニュートン）については、
引張強さで解説してるケン！

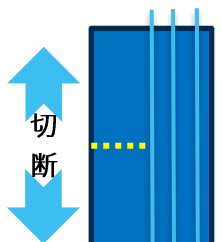


一般的な目安

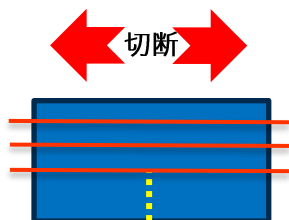
紳士用ジャケット、パンツなど	13N以上（薄地 10N以上）
婦人・子供用ジャケット、パンツ、スカートなど	10N以上（薄地 7N以上）
シャツ、ブラウスなど	10N以上（薄地 7N以上）

◎一般的な目安に達していないと・・・

着用中、突起に引っ掛けた際に、簡単に破れてしまうかも。。。
また突発的な力により、縫い目から裂けてしまうことも。。。



たてのデータ
(たて糸を切断する強度)



よこのデータ
(よこ糸を切断する強度)

右のように、たてよこの強度バランスによって、破断の仕方が変わることもあるケン！



※切れ残りあり



※引裂方向に対して
直角に切断



HPでは試験方法を紹介。QRコードまたは、下記の文字をクリックして参照ください。
[ボーケンのHPから閲覧する。](#)

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

東京試験センター

所在地 〒135-0001 東京都江東区毛利1-12-1

担当 中井 mail:

nakaikazutaka@boken.or.jp

X(イクス) @boken1948

試験動画や豆知識など役立つ情報を発信しています！みなさまのフォローお待ちしております！

